

「子宮体癌と腫瘍関連免疫機構の関連性」
に関する研究

1、研究の対象

当院において1990年1月1日～2015年12月31日までの間に当院で初回治療を受けた子宮体癌の患者さんが対象となります。

2、研究目的・方法

近年様々な癌種において腫瘍関連リンパ球が予後や治療効果に影響を与えることが言われています。そこで本研究の目的は、子宮体癌における免疫細胞の分布・性状が病気の進行期や生命予後、臨床病理学的因子などと相関するかを検討するものです。研究期間は平成34年3月31日までを予定しております。

3、研究に用いる試料・情報の種類

取得される情報は通常診療録に記載される情報及び手術等により摘出された検体を用いるものであり、この研究のために改めて情報を取得することや、侵襲を加えることはありません。取得する情報の内容としては以下の内容になります。

年齢、FIGO病期やTNM分類（病気のひろがりや転移の有無のこと）、治療歴、初回治療から再発までの期間、治療開始から再発までの期間、最終生存確認日（または死亡日）等になります。また試料については摘出検体のスライドを用いて免疫細胞の分布や性状を確認し、未染スライドを用いて免疫染色（特殊な染色法）により免疫細胞をより詳細に確認することを行います。

4、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座 宮本守員

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

電話：04-2995-1511（内線2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：

防衛医科大学校病院 産科婦人科学講座 教授

古谷 健一